

2009年3月期決算説明会

2009年5月15日

Nabtesco Corporation

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

- I. 2009年3月期連結業績概況
および2010年3月期連結業績見通し
- II. セグメント別業績概況・見通し
- III. 設備投資額・研究開発費・減価償却費
- IV. BS概況
- V. 目標とする経営指標

連結業績概況 (前期比)

(単位:億円)	2008/3	2009/3 (Q3時予想)	2009/3	増減	率
売上高	1,742	(1,570)	1,581	-160	-9.2%
営業利益	194	(108)	120	-74	-38.2%
(営業利益率)	(11.2%)		(7.6%)	—	—
営業外損益	6		9	3	—
経常利益	200	(117)	129	-70	-35.2%
特別損益	-16		-50	-34	—
税金等調整前 当期純利益	184		79	-105	-57.0%
当期純利益	110	(22)	44	-66	-59.9%
一株当たり 純利益	86.77円		34.82円	-51.95円	

一株当たり 配当金	16円	(未定)	13円(予)	-3円	
--------------	-----	------	--------	-----	--

Remarks:

特別損益 (損失の主な内容)

- 2008/3
事業撤退損 -499百万円
退職給付制度移行損失 -473百万円
- 2009/3
投資有価証券評価損 -4,589百万円

(単位:億円)	2009/3	2010/3	増減	率
売上高	1,581	1,240	-341	-21.6%
営業利益	120	50	-70	-58.4%
経常利益	129	55	-74	-57.7%
当期純利益	44	30	-14	-32.2%
一株当たり 配当金	13円(予)	8円(予)	-5円	

連結損益増減要因分析

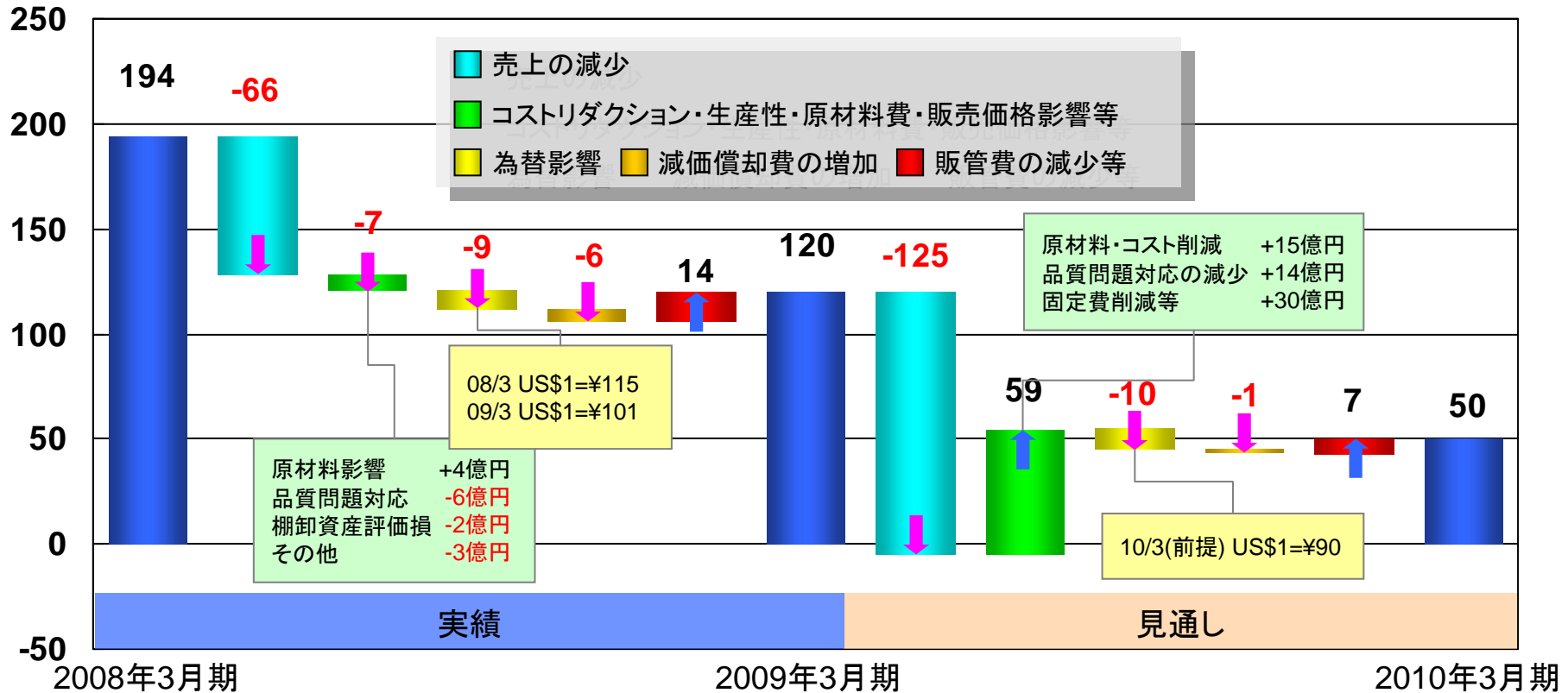


売上高

2009年3月期後半より続く精密減速機(精密機器事業)、油圧機器(航空・油圧機器事業)を中心とした急激な需要減により、2010年3月期も大幅な減収の見通し。

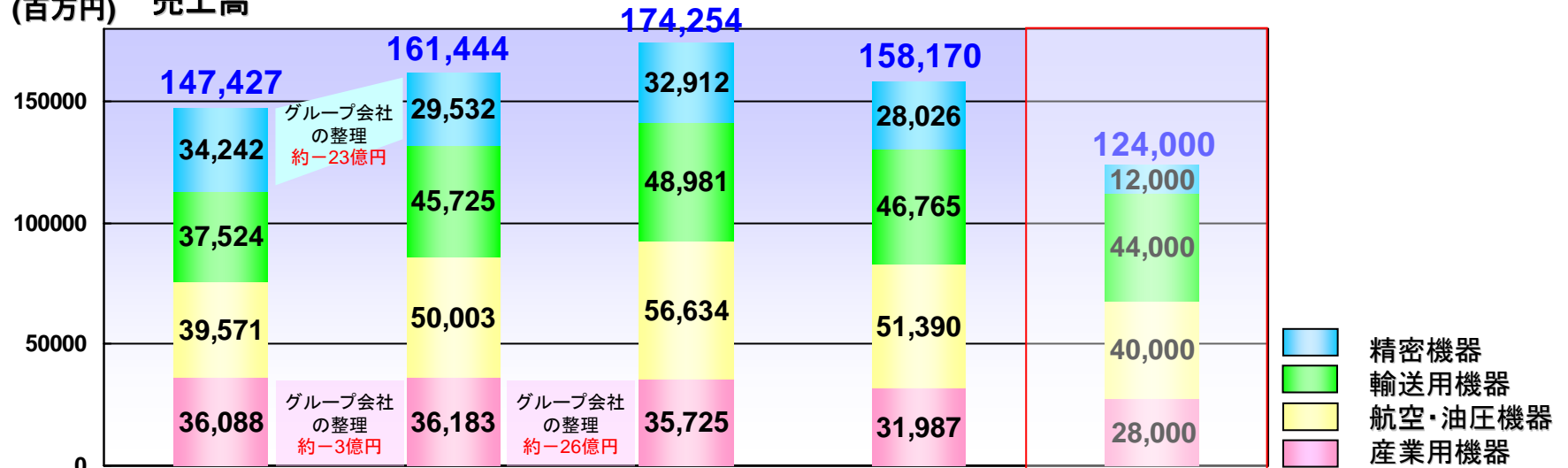
営業利益

(単位: 億円)

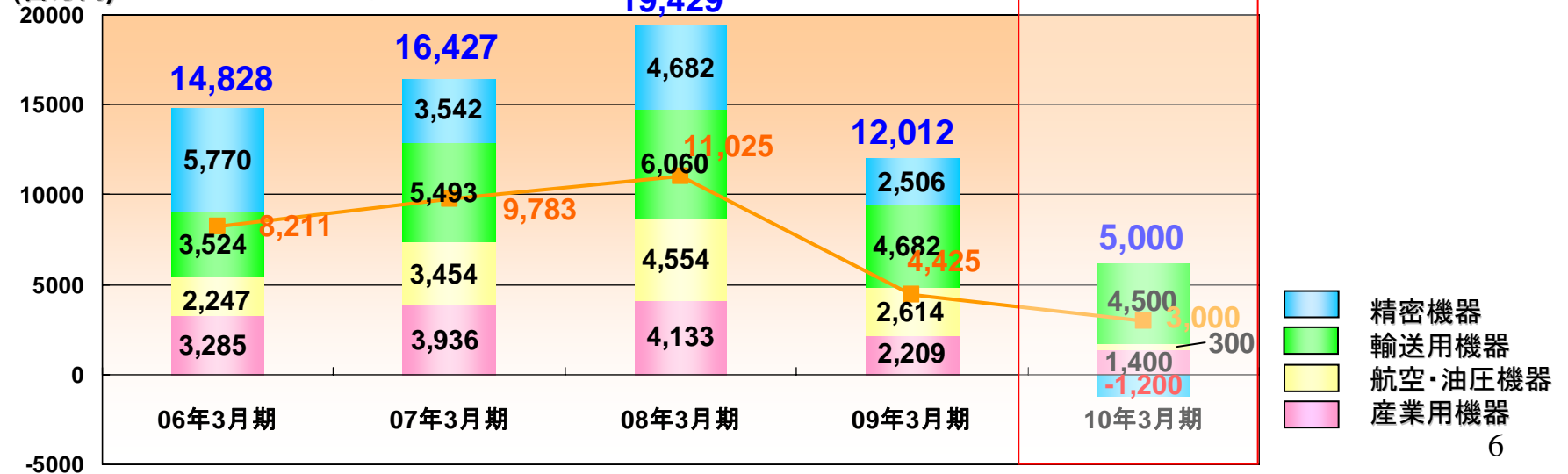


事業セグメント別 売上高・営業利益推移 **Nabtesco**

(百万円) 売上高

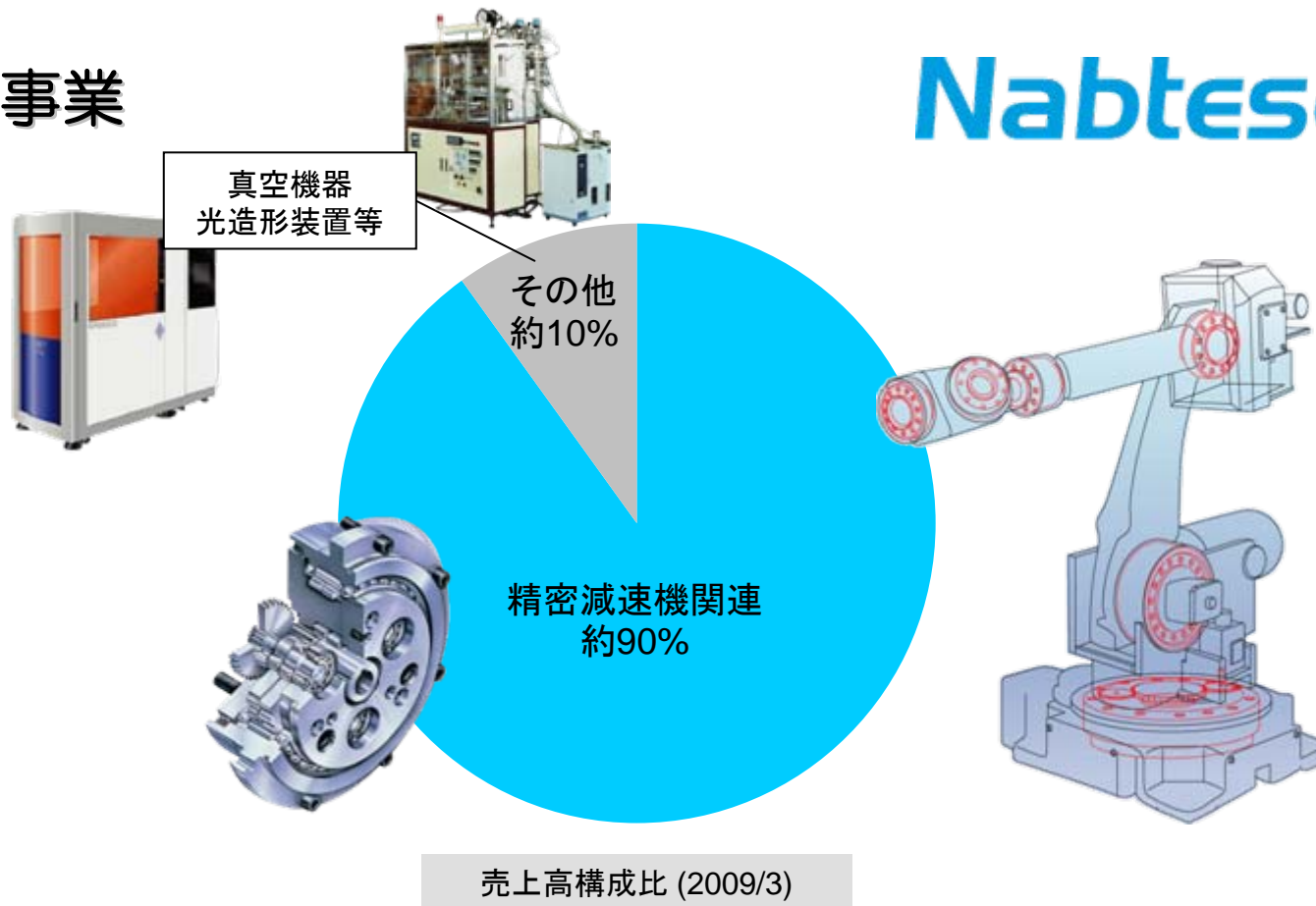


(百万円) 営業利益・当期純利益



精密機器事業

Nabtesco



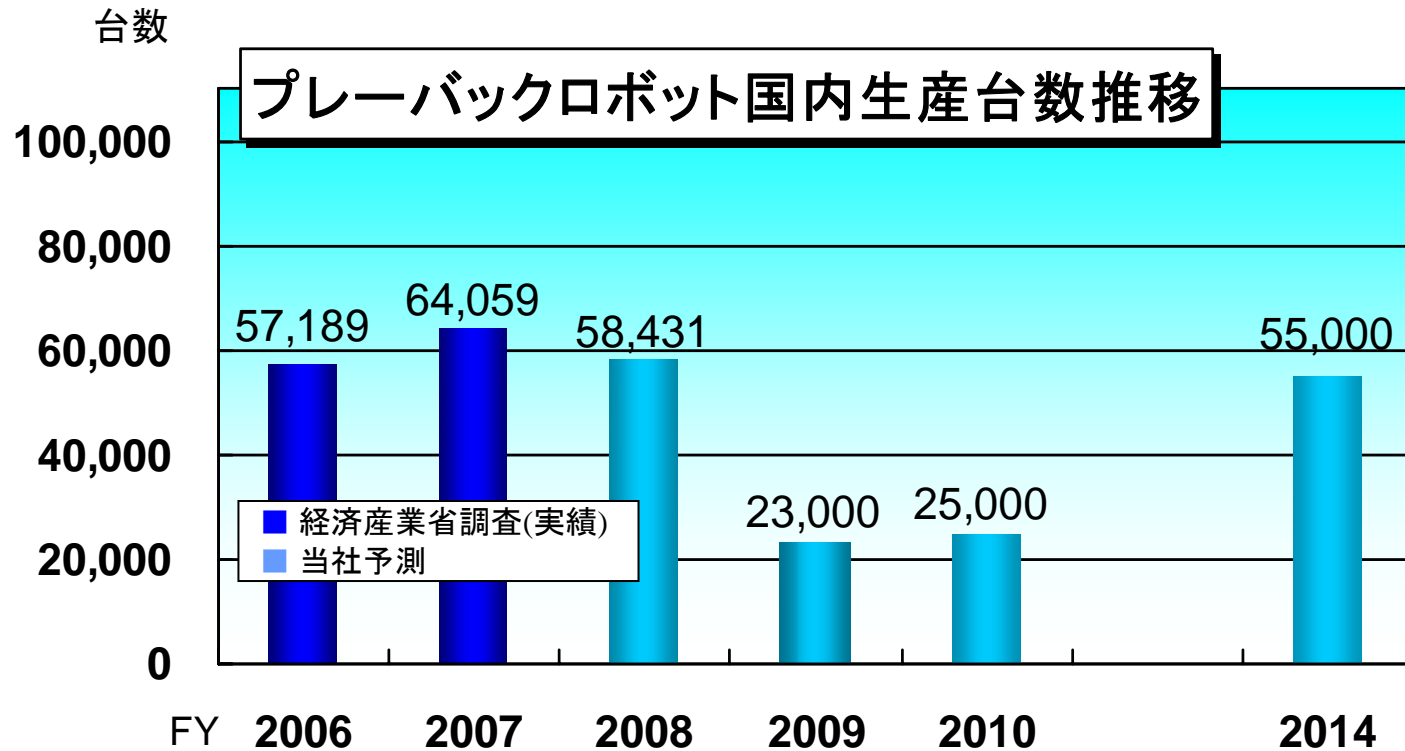
主要製品と顧客 (敬称略)

●精密減速機

産業用ロボット：ファナック・安川電機・KUKA (独)・ABB (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック・オークマ・森精機製作所

半導体製造装置：東京エレクトロン



精密機器事業：業績推移

Nabtesco

2009年3月期実績

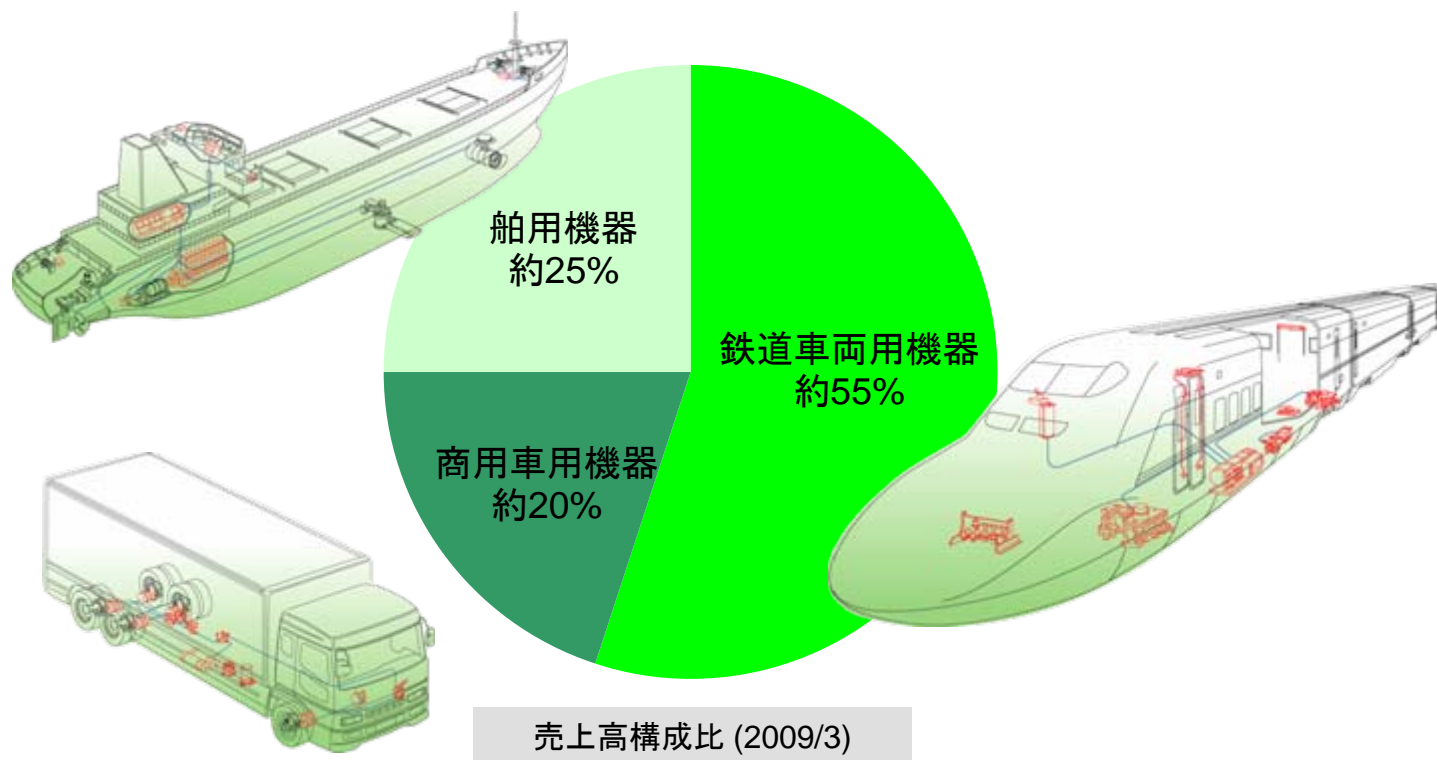
(単位:百万円)	2008/3	2009/3 (Q3時予想)	2009/3	増減	率
売上高	32,912	(27,800)	28,026	-4,885	-14.8%
営業利益	4,682	(2,050)	2,506	-2,175	-46.5%
営業利益率	14.2%	(7.4%)	8.9%		

Notes: 精密減速機

- 産業用ロボット: 09/3下期より自動車向けを中心に著しく需要が減少。10/3 4-6月期には底を打つと思われるが、厳しい状況が予想される。
- 工作機械: 09/3は顧客の受注残により比較的堅調であったが、10/3は顧客業界の受注環境も大きく落込み、減収の見通し。
- 半導体製造装置: 絶対額が少ないため影響は軽微であるが、環境好転の兆しが見えず、10/3も底ばいが続く見通し。
- 09/3に引続き10/3も売上高減少、大幅なコスト削減も減収・減益の見通し。

2010年3月期見通し

(単位:百万円)	2009/3	2010/3	増減	率
売上高	28,026	12,000	-16,026	-57.2%
営業利益	2,506	-1,200	-3,706	-147.9%
営業利益率	8.9%	-10.0%		



主要製品と顧客 (敬称略)

● 鉄道車両用機器 ブレーキシステム ドア開閉装置

JR各社・民鉄各社・川崎重工業・日本車輛製造・中国新幹線向け・他

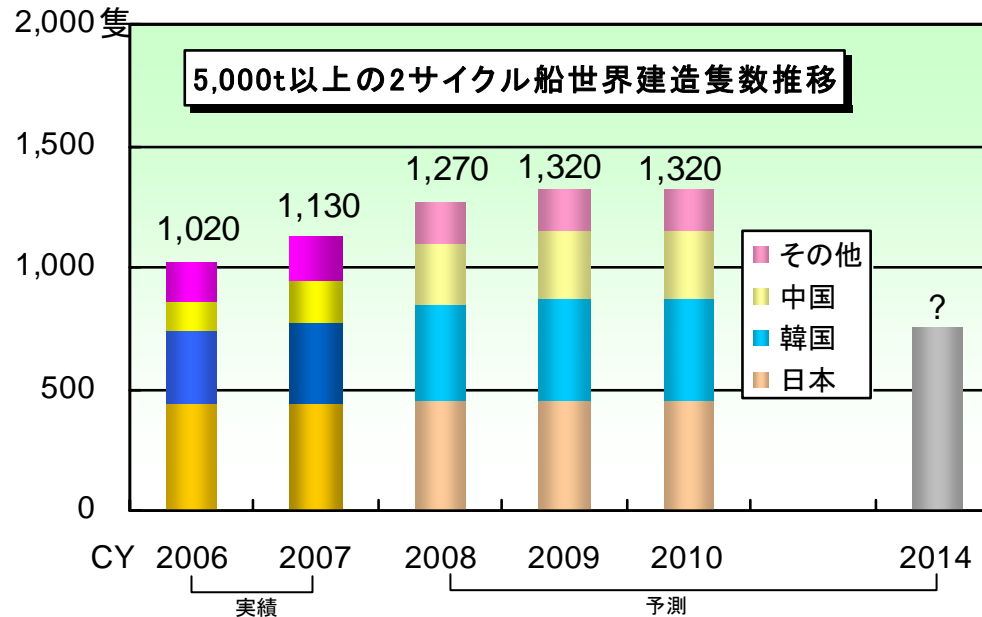
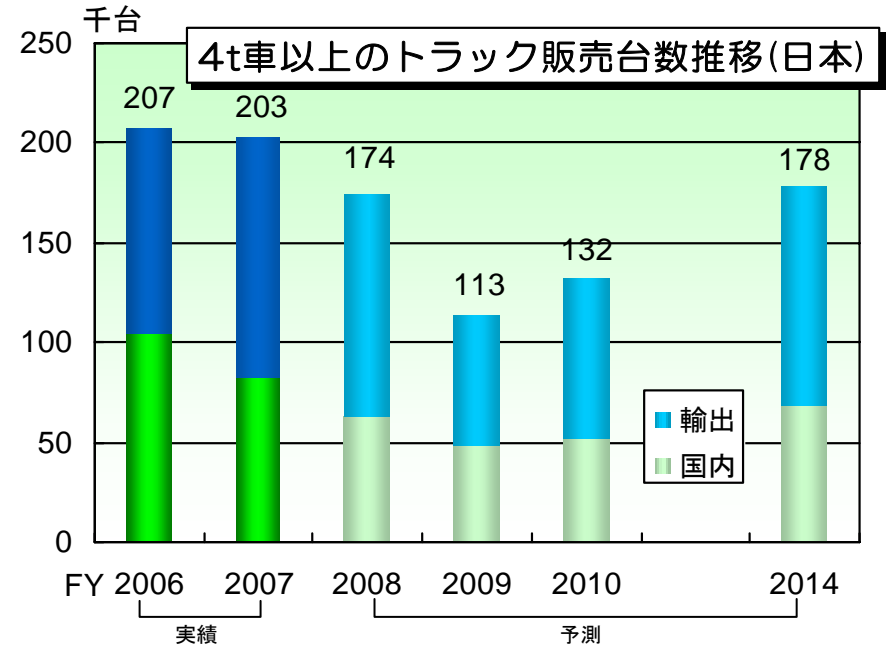
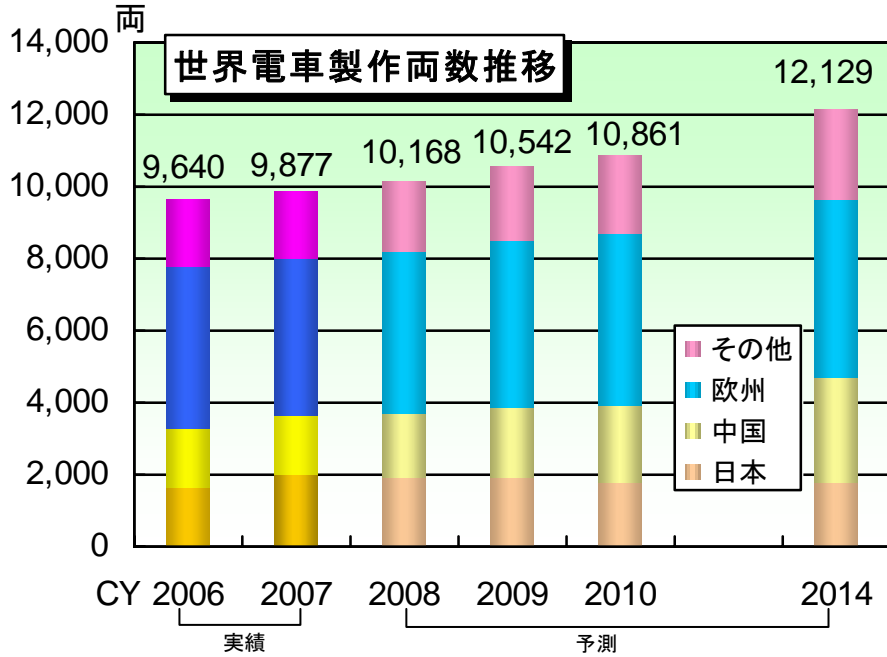
● 商用車用機器 エアブレーキ周辺機器

日野自動車・いすゞ自動車・三菱ふそうトラック・バス・日産ディーゼル工業

● 船用機器 ディーゼルエンジン遠隔制御装置

川崎重工業・三井造船・日立造船D&E・Hyundai Heavy Industries (韓)・MAN Diesel (デンマーク)

輸送用機器事業：市場予測



図表：当社調査

輸送用機器事業：業績推移



2009年3月期実績

(単位:百万円)	2008/3	2009/3 (Q3時予想)	2009/3	増減	率
売上高	48,981	(46,100)	46,765	-2,215	-4.5%
営業利益	6,060	(4,550)	4,682	-1,378	-22.7%
営業利益率	12.4%	(9.9%)	10.0%		

Notes:

- 鉄道車両用機器:09/3は国内向け納期の端境期に入り減収。10/3は国内向けが横ばいも中国向けの拡大により増収の見通し。
- 商用車用機器:09/3は前半において需要を牽引していた完成車メーカーの輸出も減速、減収。10/3も需要回復は困難。
- 船用機器:09/3は造船需要が堅調、増収。10/3は世界造船隻数はピークを迎えるが、当社の納入はピークアウト、また一部製品の需要収束により減収。
- 09/3は鉄道車両用機器事業における品質問題対応費用の増、商用車用機器の減収影響により減益。10/3は鉄道増益も、商用車、船用の減収影響により減益。

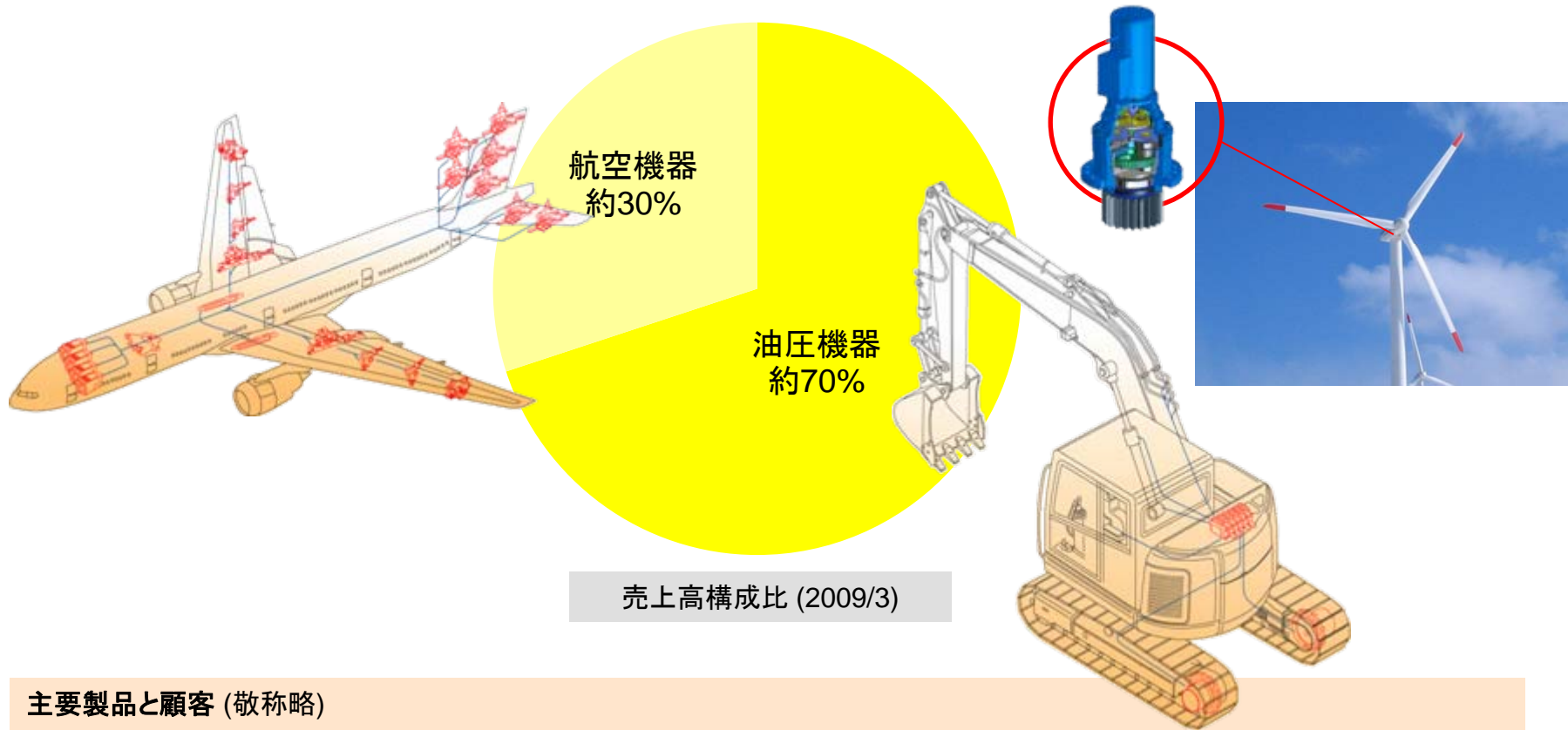
2010年3月期見通し

(単位:百万円)	2009/3	2010/3	増減	率
売上高	46,765	44,000	-2,765	-5.9%
営業利益	4,682	4,500	-182	-3.9%
営業利益率	10.0%	10.2%		

Remarks:

鉄道車両用機器品質問題

- 金額:09/3において前期比約8億円増加。10/3には減少の見通し。
- 内容:人的被害等はないがコンプレッサーを中心に不具合が多発。
- 対策:これまで事後に個別対応してきたが、可能性のある機器を全て新設計品に交換する。



主要製品と顧客 (敬称略)

●油圧機器

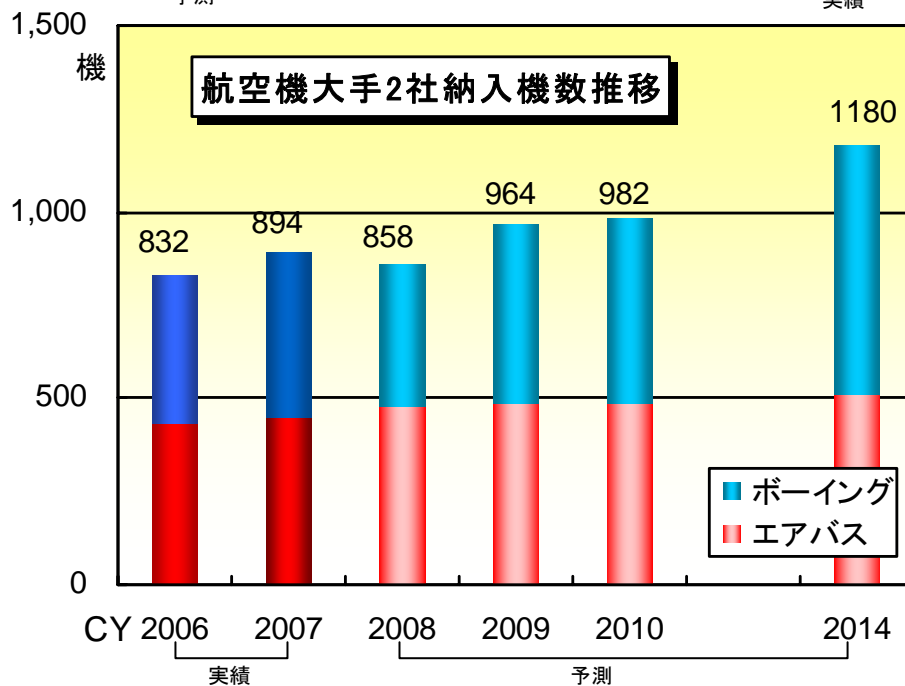
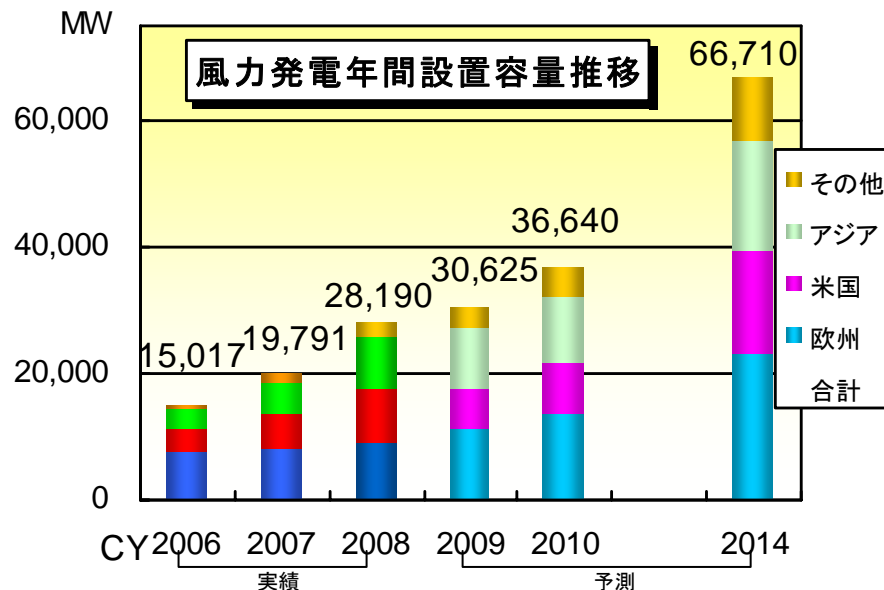
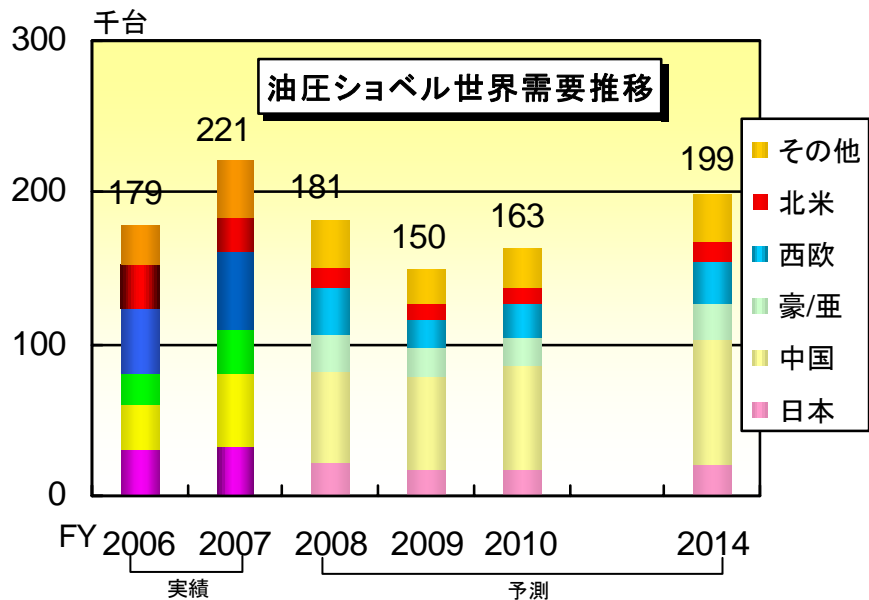
走行モーター: コマツ・コベルコ建機・住友建機・タダノ・Doosan (韓)・Liu Gong (中)

風力発電機用駆動装置: 三菱重工業・他

●航空機器 フライトコントロールアクチュエーションシステム

ボーイング・三菱重工業・川崎重工業・IHI・防衛省・シンガポール航空

航空・油圧機器事業：市場予測



図表：当社調査

航空・油圧機器事業：業績推移

Nabtesco

2009年3月期実績

(単位:百万円)	2008/3	2009/3 (Q3時予想)	2009/3	増減	率
売上高	56,634	(51,300)	51,390	-5,243	-9.3%
営業利益	4,554	(2,400)	2,614	-1,940	-42.6%
営業利益率	8.0%	(4.7%)	5.1%		

2010年3月期見通し

(単位:百万円)	2009/3	2010/3	増減	率
売上高	51,390	40,000	-11,390	-22.2%
営業利益	2,614	300	-2,314	-88.5%
営業利益率	5.1%	0.8%		

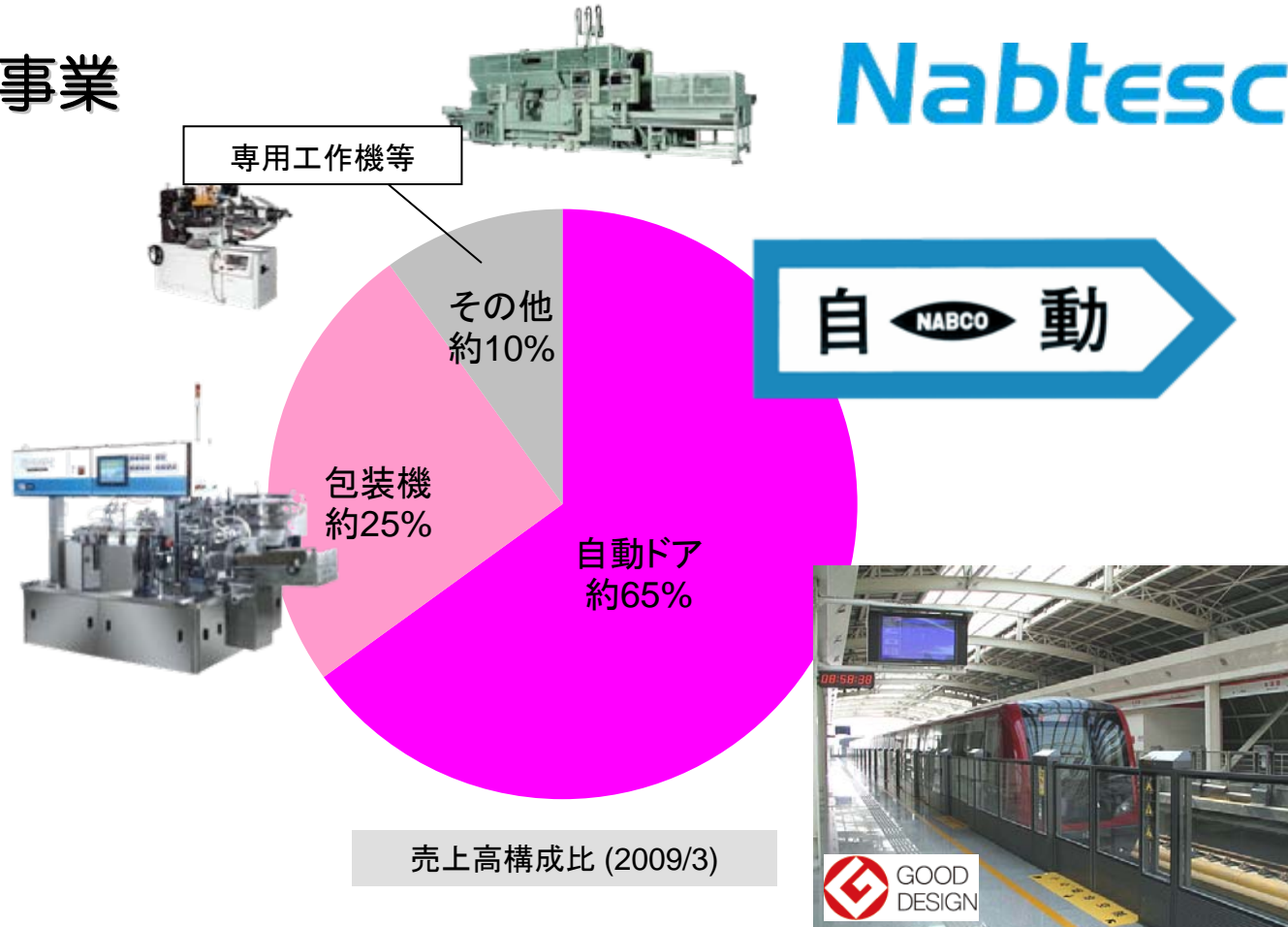
Notes:

● 油圧機器

建機:09/3は上期まで好調を維持してきたが、下期に急減速し減収・減益。10/3は中国向けに改善が見られるが、全体感は回復せず減収・減益。
風力発電機用駆動装置:09/3は堅調に成長、10/3に市場停滞感はあるがシェア向上により横ばい。

● 航空機器:09/3は防衛需要の減、ボーイング社ストライキによる民間航空機向けの減等により減収も、不採算事業の撤退、品質問題対応費用の減により増益。10/3は防需増も民需の為替影響により売上高横ばい、製品構成差により減益の見通し。

● 大幅な固定費削減も、油圧機器の減収、為替影響等により減益の見通し。



主要製品と顧客 (敬称略)

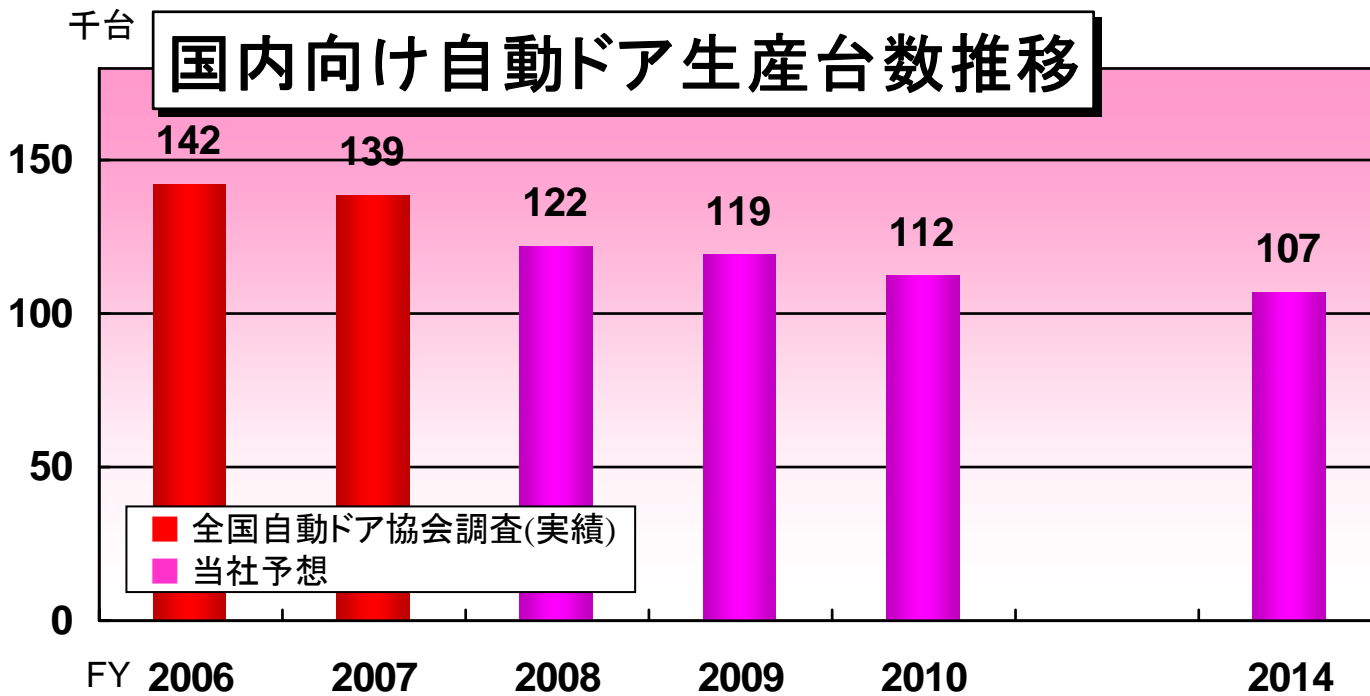
●自動ドア

各種建物用自動ドア: 大手ゼネコン各社・トステム・他

プラットホームドア: MTR (香港)・CTCI (台湾)・Hyundai Elevator (韓)

●包装機

大塚食品・丸大食品・江崎グリコ・Latinpack (仏)・Mars Food (米)・ライオン・ニッサン石鹼 (洗剤詰替用)



産業用機器事業：業績推移



2009年3月期実績

(単位:百万円)	2008/3	2009/3 (Q3時予想)	2009/3	増減	率
売上高	35,725	(31,800)	31,987	-3,738	-10.5%
営業利益	4,133	(1,800)	2,209	-1,923	-46.6%
営業利益率	11.6%	(5.7%)	6.9%		

Notes:

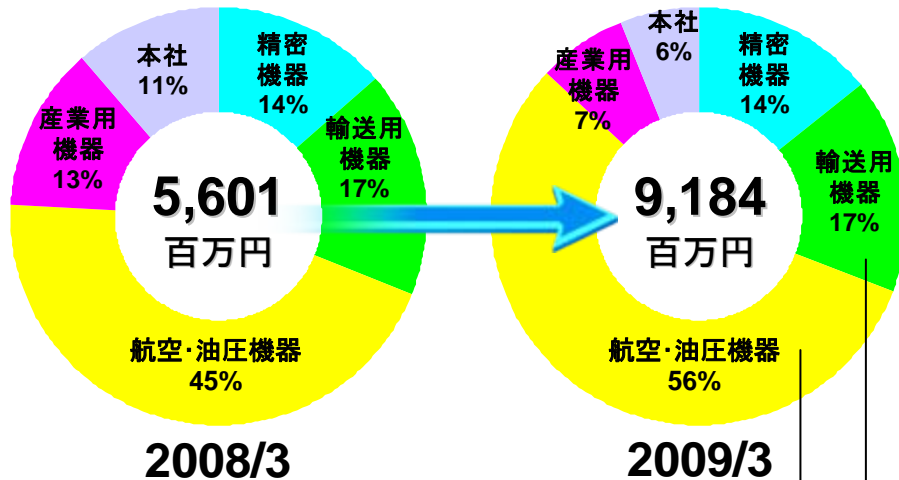
- 自動ドア関連:09/3、10/3ともに建築需要後退の影響を受け、減収。
- 包装機:09/3は売上高横ばい。10/3は海外向けの減が予想され減収。
- 専用工作機:09/3、10/3ともに自動車業界の設備投資減退により減収。
- 09/3は自動ドアの減収、包装機の販管費増等により減益。10/3は各事業売上の減を主要因として減益の見通し。

2010年3月期見通し

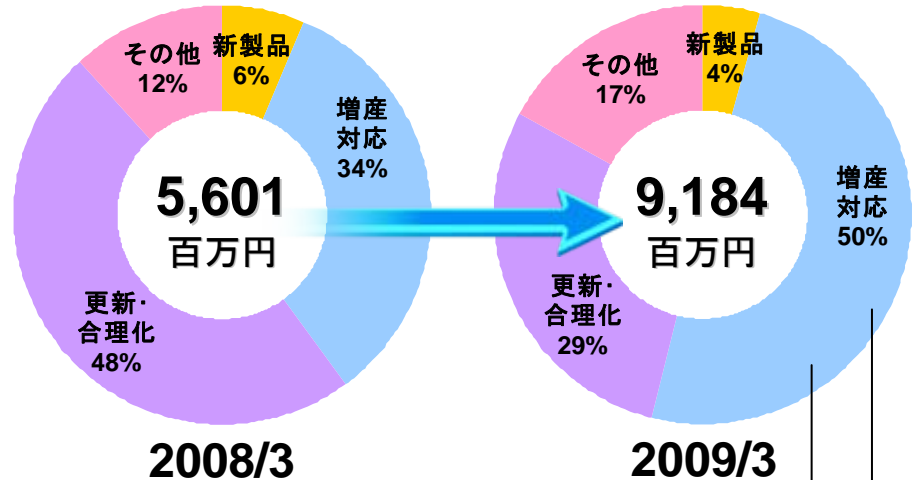
(単位:百万円)	2009/3	2010/3	増減	率
売上高	31,987	28,000	-3,987	-12.5%
営業利益	2,209	1,400	-809	-36.6%
営業利益率	6.9%	5.0%		

(百万円)	2008/3 実績	2009/3 (Q2時予想)	2009/3 実績	2010/3 見通し	2010/3 (発注ベース)
設備投資額	5,601	(12,600)	9,184	6,200	3,000
研究開発費	4,080	(4,200)	4,107	4,000	
減価償却費	5,212	(6,300)	5,867	6,000	

設備投資額実績・セグメント別内訳



設備投資額実績・目的別内訳



● 船用機器工場増設

- 風力発電機用駆動装置専用工場新設
- 油圧機器タイ工場新設
- 油圧機器上海工場増設

(単位:億円)	2008/3	2009/3	差異
資 産	1,633	1,446	-186
(現 預 金 等)	301	274	-27
(売 上 債 権)	466	351	-114
売上債権回転日数	98	94	-4日
(棚 卸 資 産)	184	164	-19
棚卸資産回転日数	50	51	+1日
(有 形 固 定 資 産)	433	452	18
負 債	808	629	-178
(有 利 子 負 債)	231	191	-39
純 資 産	824	817	-7
(少 数 株 主 持 分)	50	52	1

※ 自己資本比率: **47.4%** **52.9%**

	2009年3月期実績	2010年3月期見通し
売上高	1,581億円	1,240億円
当期純利益	44億円	30億円
ROA	2.9%	2.1%
ROE	5.8%	3.9%
フリーCF	47億円	41億円

現状における対処すべき課題

- 収益性とフリーキャッシュフローの確保 (投入資源の迅速な削減・縮小)
- 将来の布石となるべき投資に厳選

うごかす、とめる。

Nabtesco